

SIAF2020

ディレクターズトーク番外編  
第1弾



TSUDA  
DAISUKE



AMANO  
TARO

あいちトリエンナーレ2019  
芸術監督

津田 大介

ジャーナリスト/メディア・アクティビスト。早稲田大学文学学術院教授。メディアとジャーナリズム、著作権、コンテンツビジネス、表現の自由などを専門に執筆活動を行う。近年は地域課題の解決や社会起業、テクノロジーが社会をどのように変えるかをテーマに取材を続ける。主著に、「情報戦争を生き抜く」(朝日新聞)、「ウェブで政治を動かす」(朝日新書)、「Twitter社会論」(洋泉社新書)、「動員の革命」(中公新書ラクレ)など。

あいちトリエンナーレ2019  
情の時代 Taming Y/Our Passion

2010年から3年ごとに開催されている国内最大規模の国際芸術祭。4回目となる2019年は、国内外から80組以上のアーティストを迎えます。国際現代美術展のほか、映像プログラム、パフォーマンスアーツ、音楽プログラムなど、さまざまな表現を横断する、最先端の芸術作品を紹介します。

会期：2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝) [75日間]  
主な会場：愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺)、豊田市(豊田市美術館及び豊田市駅周辺)

<http://aichitriennale.jp>

# 芸術祭の あいちの 教えて ええて

札幌国際芸術祭2020  
統括ディレクター

天野 太郎

横浜市民ギャラリーあざみ野首席芸員。多摩美術大学などで非常勤講師を務める。美術評論家連盟所属。北海道立近代美術館勤務を経て、1987年の横浜美術館開設準備室より同館で国内外での数々の展覧会企画に携わる。「横浜トリエンナーレ2005」でキュレーター(2011年、2014年はキュレトリアルヘッド)を務めた。SIAF2020では、企画ディレクター(現代アート担当)およびディレクターチームの統括も務める。

札幌国際芸術祭2020

札幌国際芸術祭[Sapporo International Art Festival 略称:SIAF(サイアフ)]は、3年に一度、札幌を舞台に開催される芸術の祭典です。2014年に初開催し、過去2回は夏から秋にかけて実施してきましたが、3回目となるSIAF2020では、これまで以上に札幌の特徴や魅力を生かした芸術祭にするため、雪の降る冬季に開催します。現代アートやメディアアートの紹介などを通じて市民の創造性を高めるとともに、街の風土や北方圏の文化などにも向き合い、札幌の魅力を広く国内外に発信する機会としていきます。今夏、詳細を発表します。

<https://siaf.jp>

6.26 WED. 2019  
18:30 - 20:00  
(開場18:00)

会場 **札幌プラザ2・5**

札幌市中央区南2条西5丁目 [狸小路5丁目アーケード内]

定員 150名(要事前申込)・参加無料

申込 6月10日(月)からウェブサイト  
[<http://siaf.jp/event/talk/p10132>]  
または電話[011-211-2314]で受付  
※電話は平日8:45-17:15



今年8月から10月にかけて、愛知県で開催される、あいちトリエンナーレ2019。「情の時代 Taming Y/Our Passion」をテーマに、総勢80組以上のアーティストが参加します。この度、急速、芸術監督の津田大介氏(ジャーナリスト/メディア・アクティビスト)の来札が決定。札幌国際芸術祭2020(SIAF2020)統括ディレクター天野太郎との対談が実現します。

あいちトリエンナーレ2019は、サカナクションの参加や、アーティストの男女比を半々にするジェンダー平等を達成するなど話題となっています。一方、SIAF2020は、ディレクターチーム制で初の冬季開催に挑みます。

この対談の第2弾は、あいちトリエンナーレ会期中の9月に、名古屋市で開催予定です。2人から語られるそれぞれの芸術祭。お聞き逃しなく!

お問い合わせ：札幌国際芸術祭実行委員会事務局 | <https://siaf.jp> siaf2014info siaf\_info siaf\_info

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階 札幌市市民文化局 国際芸術祭担当部内 TEL: 011-211-2314 | FAX: 011-218-5154 | E-mail: info@siaf.jp

主催：札幌国際芸術祭実行委員会/札幌市 協力：あいちトリエンナーレ実行委員会 助成： 平成31年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

